

## 2016年国民春闘 闘争宣言

日本社会の未来を大きく左右する歴史的なたたかいとなる 2016 年春闘が始まる。

国民的な共同をさらに広げ、安倍政権を退陣に追い込み、戦争法を廃止させよう。すべての労働者の賃上げ・底上げ、雇用の安定を実現しよう。暮らしをまもり、安全・安心な社会を実現しよう。

安倍政権は、憲法違反の戦争法を、国民多数の反対の声を無視し、国会で強行採決した。これは、日本国憲法の平和主義・立憲主義・民主主義を破壊する暴挙に他ならない。断固抗議するとともに、戦争法廃止に向け総力を結集したたかうことをまず宣言する。

財界・大企業の利益だけを優先し、国民・労働者に犠牲をしいるアベノミクスの誤りは明らかである。

グローバル大企業は安易なリストラと非正規雇用の濫用、下請け叩きをしながら、史上空前の利益を謳歌し、株主への配当を急速に増やし、内部留保を大幅に積み増している。

労働者の 4 割は非正規雇用に追いやられ、4 人に 1 人が年収 200 万円以下のワーキング・プアである。貧困と格差が加速度的に拡大している。賃金は低下の一途をたどり、消費の低迷が、中小企業の経営危機を招き、地域経済・日本経済を疲弊させている。

消費税増税と法人税減税、年金・医療・介護・生活保護の改悪、原発の再稼働と輸出、TPP「大筋合意」、辺野古新基地建設の強行など、農業や地場産業、公共サービス、国民生活を犠牲にする政策で、平和も暮らしも地域も危機に瀕している。

安倍「暴走」政治への怒りの声は、止まることなく広がっている。

憲法を生かし、平和な社会の実現に向け踏み出すときである。賃金引上げ・底上げ、雇用の安定と社会保障の拡充、地域活性化による安全・安心な社会の実現に向け踏み出すときである。

今こそ、変えなければならない。「STOP 暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法 暮らしまもる共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化」。

労働者・国民の生活と権利、平和と立憲主義、民主主義、個人の尊厳を守るため、声を上げよう。

すべての労働者・国民に、ともに国民春闘をたたかうことを、心からよびかける。

2016 年 1 月 13 日

国民春闘共闘委員会・全労連